

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191100353		
法人名	TNふれあいケアサービス株式会社		
事業所名	ふれあいの里グループホームほっ虹		
所在地	千歳市北光5丁目4番3号		
自己評価作成日	令和6年2月19日	評価結果市町村受理日	令和6年3月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&JigvosyoCd=0191100353-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然と調和した明るく陽のさすホームで一つ屋根の下に住む家族として楽しく安全に暮らしていけるようにスタッフ一同努めています。介護と医療の連携を大切に、終の棲家としてご本人ご家族が安心出来るように密に医療との関係性も大事にしています。ホームでは、家庭菜園や、花壇を整備し充実させ入居者様と一緒に育てる、愛でる、食するといった皆で楽しめる支援を行っています。
また、春は、複数班でお花見や、夏季シーズンはキャンプ場をお借りしてBBQ、夏野菜の収穫祭、近くのジェラート店や、牧場へ出かけ、秋には鮭の遡上を見学等アクティビティも重視しております。またご近所との交流も重視し、ご近所でキッチンカーを運営されている町内の方に依頼し定期的にキッチンカーを敷地内でオープンして頂き、入居者様が自ら商品を手に取って頂く等交流を楽しめる支援も行っています。また日常の中で、時にはデリバリーを行ったり、フリー食【皆で作る自由献立】を楽しんだりお誕生日の際には必ず、スタッフ手作りのケーキでお祝い、季節行事はもちろんの事、スタッフにも色々立案してもらい皆で楽しめるホーム作りを行っています。尚、施設内は毎日清掃、消毒を行い感染症予防も徹底して行われています。施設内は防犯設備も整い、窓ガラスにはUVカットが施され、ユニットバスは可動式で重度化しても入浴が楽しめる造りとなっています。
また、アイボ【AI知能搭載ロボット犬】も入居者様の癒しになっております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和6年3月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年3月に開設した2階建2ユニットの事業所で桜並木や保育所、公園に近い住宅地に位置している。広い駐車場や利用者が植栽や収穫を楽しめる花壇と畑を有し、共用空間も広く明るい造りである。浴室には可動式の浴槽と手すり等の設備もある。市内同法人グループホームほくとの家改築に伴い、利用者9名全員が当事業所へ転居している。食事を楽しむ支援に優れ、利用者の食べたい物を注文する日を毎月設け、ラーメン希望時はラーメン店へ出かけ、キッチンカーも利用している。季節行事や誕生日には職員手作りのケーキや寿司ケーキなどが食卓に並び、「これ作ったの?」と利用者の歓声を呼んでいる。桜並木見学後に自動販売機で飲みたい物を買ったり、防災の森でのBBQや牛を見学しつつジェラートを食べに出かけるなど食を結びつけた外出を支援している。午前の45分間は、体操と歌・言葉遊びがコラボした利用者に人気の体操の時間を設け、運動支援にも力を入れている。利用開始前に暴言等のあった方が、精神薬の減薬調整や関わりにより集団生活が可能となり、職員へ労いの言葉や食膳に向かい手を合わせる姿も見られるようになった事例もある。家族へは毎月ほっ虹便りに手書きの手紙を添え、生活状況をブログでも発信している。看取り支援にも尽力し家族の評価も高い。管理者や外国人特定技能実習生3名を含む職員全員が、利用者の新しい我が家となる良好な環境づくりや支援に臨み、楽しく笑顔が多く見られる暮らしの実現に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
		1. ほぼ全ての利用者の		1. ほぼ全ての家族と
		2. 利用者の2/3くらい		2. 家族の2/3くらい
		3. 利用者の1/3くらい		3. 家族の1/3くらい
		4. ほとんど掴んでいない		4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
		1. 毎日ある		1. ほぼ毎日のように
		2. 数日に1回程度ある		2. 数日に1回程度
		3. たまにある		3. たまに
		4. ほとんどない		4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
		1. ほぼ全ての利用者が		1. 大いに増えている
		2. 利用者の2/3くらい		2. 少しずつ増えている
		3. 利用者の1/3くらい		3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない		4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
		1. ほぼ全ての利用者が		1. ほぼ全ての職員が
		2. 利用者の2/3くらい		2. 職員の2/3くらい
		3. 利用者の1/3くらい		3. 職員の1/3くらい
		4. ほとんどいない		4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
		1. ほぼ全ての利用者が		1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらい		2. 利用者の2/3くらい
		3. 利用者の1/3くらい		3. 利用者の1/3くらい
		4. ほとんどいない		4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
		1. ほぼ全ての利用者が		1. ほぼ全ての家族等が
		2. 利用者の2/3くらい		2. 家族等の2/3くらい
		3. 利用者の1/3くらい		3. 家族等の1/3くらい
		4. ほとんどいない		4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○		
		1. ほぼ全ての利用者が		
		2. 利用者の2/3くらい		
		3. 利用者の1/3くらい		
		4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日頃のディスカッションで共有し、実践されている。	地域密着型サービスの意義や役割を盛り込んだ4つのケア理念を標榜し、パンフレットへの明示や共用空間へ掲示している。開設1年目であるが、支援や行事に理念が生かされている。事業所の目指す所とし、日々の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	挨拶、声掛け等日々の交流はできている。除雪も一緒に行ったり【一部】近所の方が経営しているキッチンカーを利用している。	開設に向け町内会や近隣住民へパンフレットや資料の配布、挨拶に出向き、今冬は、近隣の除雪支援を行った。デリバリーやキッチンカーから利用者が食べやすい食形態への協力が得られている。中学生の職場体験の協力の申し出や、アルバイトで高校生を受け入れるなど、地域貢献や理解促進に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生の職場体験等で行かされている。近くの高校生も短時間アルバイトをしてくれて認知症の理解を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	積極的意見交換により充分生かされている。	運営推進会議は事業所内地域交流室にて開設の翌日より、家族、地域包括支援センター、薬局、職員参加の元で定期開催している。2か月分の利用者状況、事故、研修等について報告し、生活状況を写真添付している。案内、議事録を関係者全員に送付している。	来年度以降は、町内会や民生委員にも参加協力を得るなどして会議を推進する意向であるので、実現に期待したい。また、参加できない家族からの意見反映の仕組みを設け、会議に活かす取り組みに期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	高齢支援課に事故の報告を行ったり、申請等で直接対面し会話をしている。	開設にあたり、市の担当部署との連携や実地指導を受け、適正な運営の維持に向け協働関係を築いている。地域包括支援センター主催の研修会や市内他グループホームとの看取り交流会に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修や委員会を通じて全職員に周知してもらっている。	身体拘束等の適正化のための指針を定め、不適切ケア(身体拘束・虐待)防止委員会とこれらに係る内部研修を年2回開催している。今年度は事例検討を交えた研修と現実に似せた場面で役割を演じるロールプレイング研修を実施し、職員は研修報告を提出している。玄関は夜間帯のみ施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修、委員会等を通じて徹底している。		

ふれあいの里グループホームほっ虹

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	e-ラーニング等研修を通じて理解活用されている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、全て説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議等で反映している。玄関に意見BOXも設置している。	利用者から「散歩したい」との要望には近隣の公園へ出かけ、「帰りたい」との訴えの際は本人が自ら納得できる声かけや対応に努めている。家族からは行事への協力の申し出がある。歩かせて欲しいとの意見には介護計画に載せ支援している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から意見交換されており反映されている。	管理者は、職員の向上心やモチベーションの維持に向け職場環境を整備し、就業への希望を聞き取り調整している。就業期間が短い職員との会食面談の機会も設けている。外国人技能実習生の住居支援や指導、日本語授業など手厚くサポートし、介護力が高まるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の家庭事情を理解し考慮したシフト作成を心かけている。また非常勤から正職員へ、正職員から役職者へというステップアップ方式をもうけている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	e-ラーニング等研修を通じて取り組まれている。資格支援制度も設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	感染症によりなかなか機会がないが落ち着いたタイミングで行っていききたい。【2/19、千歳市別ホームへ看取りの話交流会に参加、計画作成は地域包括の研修にも参加している。】		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族とのコミュニケーションで理解を深める努力をしている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時、来訪時に家族様と会話をしている。ご家族の家庭相談も非常に多く耳を傾けている、			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成と協力し努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日頃の声掛けや、軽作業を一緒にすることで築けている。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会等の際色々な話を聞き関係構築に努めている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	短時間ではあるが家族以外の面会も可能となりできる限り支援している。	面会は居室及び相談室で対応している。利用者の友人(地域住民)の面会もある。協力医療機関医師も利用者の馴染みの人となり共用空間で利用者との交流する機会がある。電話や手紙の取り次ぎや携帯電話を所持している利用者は家族と自由に通信している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等皆で楽しめる時間を作り支援できている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族や友人等との関係を断ち切らないように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通が可能な場合は希望を聞きながら職員間で検討している。	直接本人へ暮らし方の意向や希望、これまでの生活歴について尋ね、表出が困難で不確かな場合は、家族から情報を得て暮らしの中での笑顔が多く見られるよう本人がどうかの視点に立ち検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの話を伺い把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間、役職ふくめ情報交換し共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員が日頃より意見交換し計画作成も交え話し合い作成している。	利用者カンファレンスで利用者全員の状態像を分析しアセスメントにつなげている。モニタリングでよりよい暮らしの計画を導き、担当者会議で本人・家族、医療関係者の意見を集約し、現状に即した介護計画を策定している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	引継ぎを徹底する等し共有、実践している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族や入居者のニーズに対応しサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の心身の状態により出来る範囲で支援に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	深夜、日中問わず対応可能な支援が得られている。	2週に1度の協力医療機関医師による往診、歯科は必要時に往診が得られる体制である。専門他科への通院受診は事業所と家族が協力し合い対応している。医療連携看護師とも情報連携を密にし適切な健康管理支援に努めている。	

ふれあいの里グループホームほっ虹

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的往診時に相談や突発的事案の際は相談し対応を頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療関係とは連携を密にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、終末期に関しては家族、職員とよく話し合い支援に取り組んでいる。	「ご利用様が重度化した場合の対応に係る指針」に基づき利用契約時に家族へ説明し、同意を得ている。医師の判断に基づき関係者間で協議し今後の方針を取り決め、看取りの際は分かりやすく示した「これからの過ごし方」(OPTIM)にて説明し同意を得ている。開設時より3名の看取り支援に尽力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時事故時については初期対応が全職員が対応できるようになっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	訓練を行っている。マニュアルを整備し周知させている。	令和5年8月地震・火災・夜間想定避難訓練を実施し、12月も夜間想定で火災避難訓練を行っている。災害備蓄品を確保している。すでに策定している自然災害発生時における業務継続(BCP)は令和6年度体制に向け見直しを図っている。	新規開設の建物であり、避難訓練に消防署の指導協力が得られるよう期待したい。災害時における地域との協力体制について町内会等と連携し、確認を期待したい。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人の人柄等考慮し工夫した声掛けを行っている。	eラーニング研修で接遇やプライバシー、法令遵守を学んでいる。利用者の権利を保証し、誇りを損ねる事のない対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声掛け見守り等をし支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	見守り声掛け等をしご本人にベストな支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝の整容等で支援している。		

ふれあいの里グループホームほっ虹

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている	身体的等に問題がない利用者には出来るだけ準備軽作業などお手伝いをしてもらえよう支援している。	既存献立以外に毎月、デリバリーでフライドチキンや釜飯、丼物、生寿司など好みのメニューを注文し、麺類の場合は外食している。誕生日は手作りケーキやケーキ寿司で祝い、果物や旬の食材、菓子の寄贈も多く、畑の収穫物と共に賑やかで楽しい食を提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、定時の水分量等の記録を全て残し、把握し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	清潔を保てるように支援している。本人に合った歯ブラシを使用、本人に合った口腔洗浄等。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	声掛けや排泄記録をもとに自立支援を行っている。	生活支援経過表の排泄欄に排尿・排便状況を記録し、別個に半月ごとの状態像が一目出来る排泄チェックシートも活用している。生活リズムや習慣、パターンを把握し、時間誘導を含め個々の状況に応じ対応している。排泄に係る衛生用品の見直しもやっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録をもとに排便コントロールを行っている。また薬だけではなく食事の形態や水分量でも便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調を見ながら入浴支援を行っている。また失禁の場合は都度入浴、シャワー浴を行う。尚体調不良の際は入浴を中止している。	可動式「浴槽・手すり」やミストシャワーチェア、浴室内暖房・冷風機器類を完備し、様々な状態に配慮した入浴が可能である。シャンプー類は適した素材を備え、体調を鑑みつつ湯加減や時間の希望に応じ、「入りたい」と自ら希望する利用者もいる。身体の清潔保持と共に安心できる入浴支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	まめなバイタル測定や声掛けで状況を把握している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	記録やご本人の状態を観察し服薬支援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好みを把握し嗜好品やレク等を提供している。		

ふれあいの里グループホームほっ虹

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染症対策で屋外外出は控えているが、平日や、人の流れを見て外食、外出は行う様になっている。	天候のよい時期は公園や周辺の散歩、花壇や畑に出て手入れや収穫をしたり、キッチンカーの来設時は直接料理を受け取れる場面作りを行った。念願のBBQを防災の森施設へ行きで楽しんでいる。人流を見極め、人気店ヘジェラートを食べに出かけたり、利用者の希望により麺類を食べに個別外出を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症状の進行により支援の工夫を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	可能な方には支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理整頓、清掃を完全に行い清潔を心掛け季節感のある空間作りを心がけている。	共用空間は明るく広い造りで清潔感があり、季節行事ごとに飾り付けがなされている。通常のソファの他、ソファベッド仕様のタイプを設置している。エアコン、床暖、空気清浄機加湿器を設備し、温湿度や空調に配慮している。導入したAI知能搭載ペットロボットは、共用空間でも利用者の癒しの存在となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ、雑誌、パズル、塗り絵等提供できる備えがある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際ご家族に持ちこんで頂いたりし過ごしやすい工夫をしている。	居室には介護用ベッド、照明器具、カーテン、カメラ付きナースコールを完備している。馴染みの家具や使い慣れた調度品が持ち込まれ、家族写真や好みの物等を飾っている。ADLに応じ居室内環境を整えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人との対話や、観察、職員間の情報交換と共有のを元に環境作りに努めている。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191100353		
法人名	TNふれあいケアサービス株式会社		
事業所名	ふれあいの里グループホームほっ虹		
所在地	千歳市北光5丁目4番3号		
自己評価作成日	令和6年2月19日	評価結果市町村受理日	令和6年3月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kan=true&JigvogyoCd=0191100353-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和6年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然と調和した明るく陽のさすホームで一つ屋根の下に住む家族として楽しく安全に暮らしていけるようにスタッフ一同努めています。介護と医療の連携を大切に、終の棲家としてご本人ご家族が安心出来るように密に医療との関係性も大事にしています。ホームでは、家庭菜園や、花壇を整備し充実させ入居者様と一緒に育てる、愛でる、食するといった皆で楽しめる支援を行っています。
また、春は、複数班でお花見や、夏季シーズンはキャンプ場をお借りしてBBQ、夏野菜の収穫祭、近くのジェラート店や、牧場へ出かけ、秋には鮭の遡上を見学等アクティビティも重視しております。またご近所との交流も重視し、ご近所でキッチンカーを運営されている町内の方に依頼し定期的にキッチンカーを敷地内でオープンして頂き、入居者様が自ら商品を手にとって頂く等交流を楽しめる支援も行っています。また日常の中で、時にはデリバリーを行ったり、フリー食【皆で作る自由献立】を楽しんだりお誕生日の際には必ず、スタッフ手作りのケーキでお祝い、季節行事はもちろんの事、スタッフにも色々立案してもらい皆で楽しめるホーム作りを行っています。尚、施設内は毎日清掃、消毒を行い感染症予防も徹底して行われています。施設内は防犯設備も整い、窓ガラスにはUVカットが施され、ユニットバスは可動式で重度化しても入浴が楽しめる造りとなっています。
また、アイボ【AI知能搭載ロボット犬】も入居者様の癒しになっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日頃のディスカッションで共有し、実践されている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	挨拶、声掛け等日々の交流はできている。除雪も一緒に行ったり【一部】近所の方が経営しているキッチンカーを利用している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生の職場体験等で行かされている。近くの高校生も短時間アルバイトをしてくれて認知症の理解を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	積極的意見交換により充分生かされている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	高齢支援課に事故の報告を行ったり、申請等で直接対面し会話をしている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修や委員会を通じて全職員に周知してもらっている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修、委員会等を通じて徹底している。		

ふれあいの里グループホームほっ虹

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (2F)		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	e-ラーニング等研修を通じて理解活用されている。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、全て説明している。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議等で反映している。玄関に意見BOXも設置している。			
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から意見交換されており反映されている。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の家庭事情を理解し考慮したシフト作成を心かけている。また非常勤から正職員へ、正職員から役職者へというステップアップ方式をもうけている。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	e-ラーニング等研修を通じて取り組まれている。資格支援制度も設けている。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	感染症によりなかなか機会がないが落ち着いたタイミングで行っていききたい。【2/19、千歳市別ホームへ看取りの話交流会に参加、計画作成は地域包括の研修にも参加している。】			

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (2F)		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族とのコミュニケーションで理解を深める努力をしている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時、来訪時に家族様と会話をしている。ご家族の家庭相談も非常に多く耳を傾けている、			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成と協力し努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日頃の声掛けや、軽作業を一緒にすることで築けている。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会等の際色々な話を聞き関係構築に努めている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	短時間ではあるが家族以外の面会も可能となりできる限り支援している。			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等皆で楽しめる時間を作り支援できている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (2F)		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族や友人等との関係を断ち切らないように努めている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通が可能な場合は希望を聞きながら職員間で検討している。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの話を伺い把握するように努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間、役職ふくめ情報交換し共有している。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員が日頃より意見交換し計画作成も交え話し合い作成している。			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	引継ぎを徹底する等し共有、実践している。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族や入居者のニーズに対応しサービスの多機能化に取り組んでいる。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の心身の状態により出来る範囲で支援に努めている。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	深夜、日中問わず対応可能な支援が得られている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的往診時に相談や突発的事案の際は相談し対応を頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療関係とは連携を密にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、終末期に関しては家族、職員とよく話し合い支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時事故時については初期対応が全職員が対応できるようになっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	訓練を行っている。マニュアルを整備し周知させている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人の人柄等考慮し工夫した声掛けを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声掛け見守り等をし支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	見守り声掛け等をしご本人に最適な支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝の整容等で支援している。		

ふれあいの里グループホームほっ虹

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	身体的等に問題がない利用者には出来るだけ準備軽作業などお手伝いをしてもらえよう支援している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、定時の水分量等の記録を全て残し、把握し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	清潔を保てるように支援している。本人に合った歯ブラシを使用、本人に合った口腔洗浄等。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	声掛けや排泄記録をもとに自立支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録をもとに排便コントロールを行っている。また薬だけではなく食事の形態や水分量でも便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調を見ながら入浴支援を行っている。また失禁の場合は都度入浴、シャワー浴を行う。尚体調不良の際は入浴を中止している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	まめなバイタル測定や声掛けで状況を把握している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	記録やご本人の状態を観察し服薬支援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好みを把握し嗜好品やレク等を提供している。		

ふれあいの里グループホームほっ虹

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染症対策で屋外外出は控えているが、平日や、人の流れを見て外食、外出は行う様になっている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症状の進行により支援の工夫を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	可能な方には支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理整頓、清掃を完全に行い清潔を心掛け季節感のある空間作りを心がけている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ、雑誌、パズル、塗り絵等提供できる備えがある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際ご家族に持ちこんで頂いたりし過ごしやすい工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人との対話や、観察、職員間の情報交換と共有のを元に環境作りに努めている。		

目標達成計画

事業所名 ふれあいの里グループホームほっ虹
作成日：令和 6年 3月 20日
市町村受理日：令和 6年 3月 25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会 地域包括や家族の参加は多かったが町内の方の参加が無かった。	今年度運営推進会議では民生委員や町内の方の参加頂ける様に努める。	開催1か月前ほどに、積極的にお声掛けする。	6か月
2	35	避難訓練 消防署の指導協力が得られなかった。	今年度の避難訓練では消防署の協力依頼をし講評や指導を頂く。	年2回の避難訓練のうち1回でも消防に参加頂ける様に努める。【昨年度は依頼したが緊急出動等で参加頂けなかった】	6か月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。